



150th 卒業生 150周年記念 座談会

「わがこころの葦高」

2023(令和5)年に創立150周年を迎える県立葦山高等学校(通称「葦高」、伊豆の国市)は、県内最古の公立高校です。150年の節目を記念し、このたび年代も活躍の場も異なる6人の卒業生にお集まりいただきました。卒業後も活躍を続ける彼らを通して明らかになった、長い歴史と豊かな自然にはぐまれた葦高の良さ・らしさをお届けします。

企画・制作/静岡新聞社地域ビジネス推進局

広告



豊岡 武志(高13回)
三島市長。葦高卒業後も野球部監督、PTA会長、後援会理事長など、母校と深い関わりを持つ。葦高在学中に狩野川台風を経験し、ボランティア活動に参加。蛇ヶ橋に山のように引っかけた家屋や流木、くちやぐちになった学校のグラウンドが、今でも印象に残っている。



大川 澄人(高17回)
元日本政策投資銀行副総裁。伊東生まれ。高校時代は郷土研究部に所属し、伊豆の西海岸を回って現地を調査。伊豆半島という限られたエリアでも多様な世界を知ることになり、その経験から「地域を金融で支援する」という将来の展望が見えた。大蔵省出向時のあだ名は「葦さん」。



宮下 裕子(高27回)
医療法人社団宮下クリニック(横浜市鶴見区)院長。在校時に葦高100周年を経験。テニス部の後輩である櫻井祥行校長の要請で、女子生徒向けの医療系セミナーを行う。高校時代はテニス部の活動と医学部現役合格を両立させた。自他共に認める「文武両道」。



たなか みどり(高39回)
シンガーソングライター。葦高では音楽部に所属し、合唱と並行してバンド活動に精力的に取り組む。当時の活動が現在の仕事にも活かされている。1年生の頃のクラスの団結力が強く、そこで友人と過ごした何気ない時間思い出。夫と娘、妹2人も葦高出身。



市来 広一郎(高49回)
株式会社machimori代表取締役。一般社団法人熱海市観光協会理事。在校時に野球部が甲子園に出場し、応援スタンドを埋め尽くしたOB/OGの熱気や町の盛り上がり、強く印象に残っている。毎日富士山を眺めながら登校できたことも良い思い出。



井上 綾花(高53回)
映像ディレクター。名物教師の堀江辰男氏指導のもと、演劇部の活動に明け暮れた。龍城祭(文化祭と体育祭が一体化した葦高の最大行事)前に行った5月5日の合宿が一番の思い出。青春を全て注いだ当時の部活動の経験が、結果として今の映像の仕事につながっている。



岩崎 清悟(高17回)
コーディネーター。静岡ガス株式会社特別顧問。葦山高校同窓会会長。葦山高校創立150周年記念事業実行委員会委員長。一般社団法人富士山静岡交響楽団理事長。

(敬称略・順不同)

今回の座談会開催に先立ち、葦高卒業生を対象にアンケート調査を実施。「葦高のよさ・らしさ」として多くの卒業生から挙がった回答を、座談会のテーマとして起用しました。(座談会は徹底した感染症対策のもと実施されました)

一 自由闊達・自主自律 己の選択に責任を持ち、おおらかに生きる

岩崎 葦高の校風を語る上で、「自由闊達・自主自律」は欠かせないキーワードだと思います。学校行事、部活動、勉強と、あらゆる面で生徒が自主性を発揮しやすい環境が本校の特徴の一つですが、皆さんはどのように感じていますか？
市来 先生や学校から、何かを押し付けられたという記憶がないですね。入学直後の歌唱指導はさびたおき(笑)、それが終わったら急に自由になった印象です。だからこそ、自分で考えて行動しないと何も生まれません。
井上 私は演劇部の活動に熱中して、勉強についていくのが大変でしたが、その姿勢を否定されることはありませんでした。否定はされなくても、落ちこぼれないようサポートはしてくれました。それがとてもありがたかったです。生徒個人がそれぞれ目標に向かって努力しているため、「いじめ」というものもなく、感動しました。



岩崎 こうした傾向は、昔からあったのでしょうか？
大川 「自由不干涉」。先生や先輩から干渉を受けたことがありません。僕の印象に残っているのは、
岩崎 歌を歌えます。
岩崎 歌唱指導については、保護者からクレームをいただくことが確かにあります。しかし、「卒業の時には必ずいい思い出が変わっていますか」とお伝えしています。演劇部に青春をささげたという井上さんはいかがですか？
井上 高校時代の部活が、仲間と心をつなぐという経験の原点です。一つの目標に向かって、あんなだけの熱量を持って練習に明け暮れた経験は、今の映像の仕事に繋がっていると感じています。

二 文武両道 勉強も部活も、一生懸命に



岩崎 次は「文武両道」について。ここでいう「武」とは部活動全般を指し、文化部も含まれます。まずは自他共に認める「文武両道」を実践した宮下さん、お話を聞かせてください。
宮下 山上コート(テニスコートの名称)に行かない日はありませんでした。毎日勉強とテニスに忙しく、それこそ他人をいじめず、誰もいじめないという発想にも至らない。そういえば、最近では葦高の歌唱指導について苦情が入ることもあるそうですが、残してほしい伝統だと思います。あの期間を乗り越えれば学校生活はとても自由です。歌唱指導のおかげで、年を取っても校歌・応援歌2曲・寮

岩崎 歌を歌えます。
岩崎 歌唱指導については、保護者からクレームをいただくことが確かにあります。しかし、「卒業の時には必ずいい思い出が変わっていますか」とお伝えしています。演劇部に青春をささげたという井上さんはいかがですか？
井上 高校時代の部活が、仲間と心をつなぐという経験の原点です。一つの目標に向かって、あんなだけの熱量を持って練習に明け暮れた経験は、今の映像の仕事に繋がっていると感じています。

三 多様性・包摂性 個性を認め尊重する校風

岩崎 「多様性」についてはいかがでしょうか。葦高には伊豆全域から生徒が集まってくることもあり、地域的な意味でも多様性に富んでいると言えるのではないのでしょうか？
たなか 東海岸出身は、下宿している子が多かったですね。音楽部は男子が少なかったんですが、伊東、熱川、河津の男子がたくさん入ってくれて、男子パートが充実しました。また、夏休みはご実家のあ

岩崎 歴史や自然が豊かな土地で青春を過ごすことができて、という利点の一方で、通学に時間がかかることをマイナスと捉える見方もあります。
大川 富士山が見える学校、私は素晴らしいと思います。葦山駅から学校までの15分も、いい時間です。仕事で海外の方と話す時、「富士山の麓で育った」と伝えるととても反応がいいんです。
豊岡 通学中に友人と話したり勉強したり、今となってはとても貴重な時間です。葦高の校章は北条家の家紋が元となっていて、北条家から通る通り、長い歴史を持つ学校です。そんなバックグ

四 恵まれた環境 富士を望み、自然と歴史に育まれた土地



岩崎 歴史や自然が豊かな土地で青春を過ごすことができて、という利点の一方で、通学に時間がかかることをマイナスと捉える見方もあります。
大川 富士山が見える学校、私は素晴らしいと思います。葦山駅から学校までの15分も、いい時間です。仕事で海外の方と話す時、「富士山の麓で育った」と伝えるととても反応がいいんです。
豊岡 通学中に友人と話したり勉強したり、今となってはとても貴重な時間です。葦高の校章は北条家の家紋が元となっていて、北条家から通る通り、長い歴史を持つ学校です。そんなバックグ

五 明日の葦高生へメッセージ 葦高で得られる豊かな3年間

岩崎 葦高150周年のスローガンは「明日を拓け！葦山の風」。地域を愛し世界に羽ばたけ。地域貢献と世界での活躍、二つの要素が盛り込まれています。
大川 世界で通用する人間になるためには、複合的な能力が必要で、創意工夫、臨機応変に対応できる柔軟性、考えを伝えるための外向性、会話力、教養、表現力、語学は意思疎通の基礎です。英語は若い時にまとめて勉強しておかないとなかなか身につかないので、学校側も英語に力を入れてほしいですね。これからは組織に頼るのではなく、自分一人でも生きられる力が求められる時代になります。高校3年間に、その土台作りができるようにですね。

豊岡 葦高の前身である伊豆学校の校長で、江川坦庵公の五男、英武氏は、米国留学の経験を活かし、本場仕込みの英語を生徒に教えました。当時のテキストが現在も葦山高校図書室に残っています。が、授業の大半を英語で行っていたことが分かります。葦山の土地から世界を変えていこう、世界に

葦山高校 創立150周年 記念事業

- ★英語力強化に向けた「世界に羽ばたけプロジェクト」
 - ・放課後留学(オンラインによる疑似留学体験)
 - ・英国語学研修補助(10日間の英国語学研修)
 - ・エンパワーメントプログラム補助(英検2級以上の生徒への補助など)
- ★通史編纂・市民講座
- ★学校施設の改修
- ★記念式典の開催

皆様からのご支援を
よろしく申し上げます。

事業の詳細、寄付はこちらから。
(クレジットカードもご利用いただけます)

お問い合わせ先
葦山高校同窓会事務局 TEL.055-940-0770